

# 設置前の調査

## 調査項目

- 対象とする建築物。
- 対象とする建築物の周囲、敷地内の状況。
- しろありの生息が認められる時は、その場所および被害実態。
- 採餌蟻道、周辺の植生・材木・廃材、等。
- しろありの活動が及ぶ可能性の高い場所。
- 日当たりの悪い場所、雨漏りのする場所、軒下、台所・風呂場
- 洗面所・便所等の水周り等。
- 埋める場所の上下水道、電気配線等の配管の状況

## 調査結果の記録

- 設置を行った建築物およびその敷地へのステーションの配置図
- 訪問点検結果
- その他特記すべき事項

## 設置場所の選定

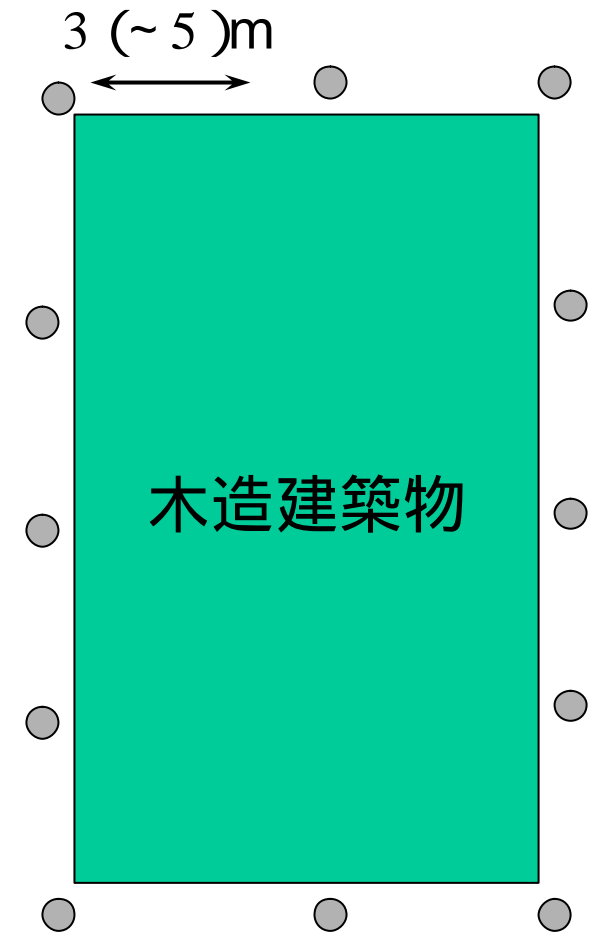
しろありの活動しやすい場所(水周り 日当たりの悪い場所等)にまず重点設置

- ・ シロアリの活動状況により、ヒットする確率の高い場所には、間隔を詰めて設置してください

最良の防除効果を得るために、3m間隔で建物の周囲に設置。ユニットの最大許容間隔は5m以内

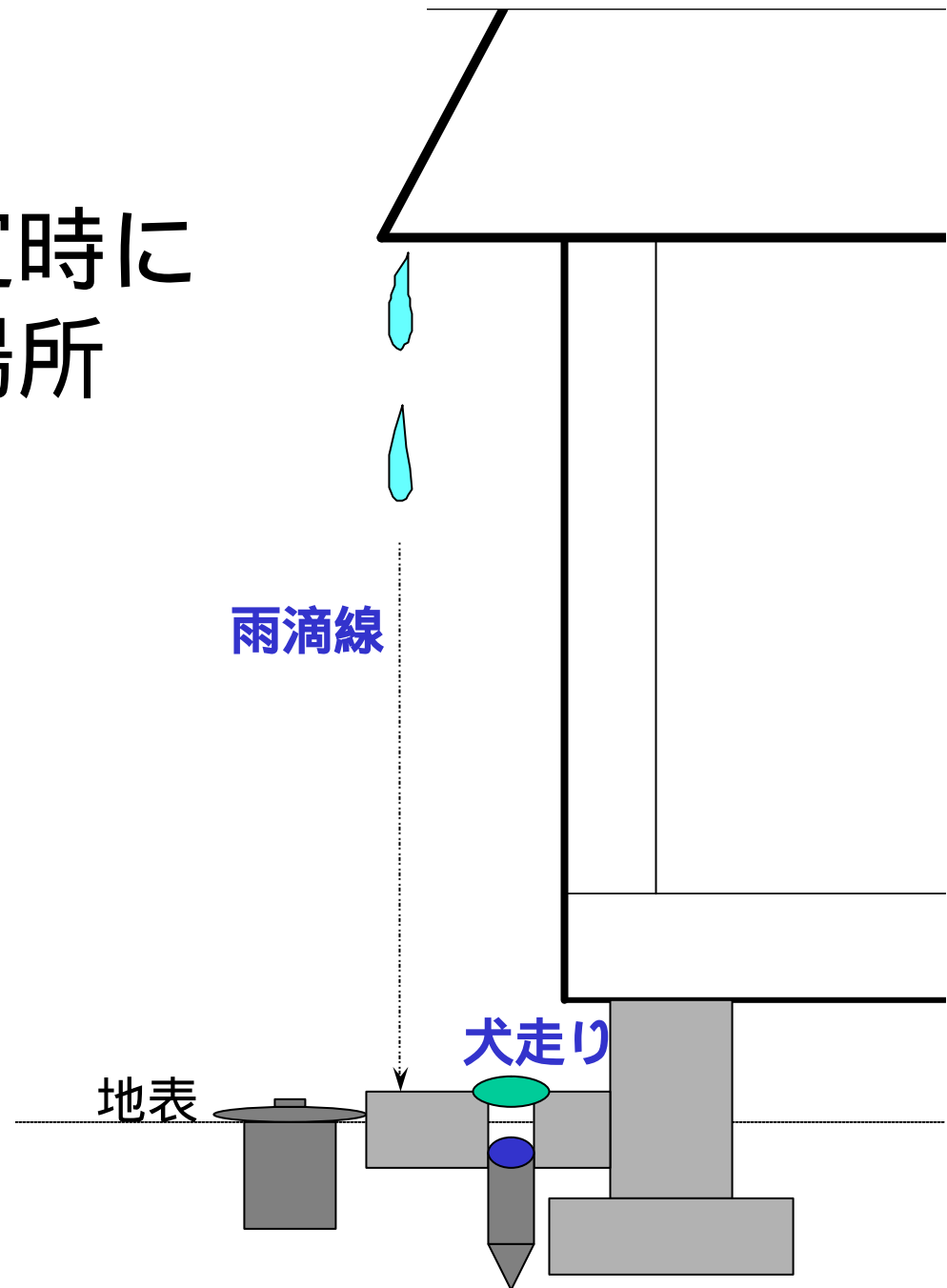
- ・ 障害物などにより設置できない場合には、間隔の調節をして下さい。設置できなかったステーションは他のヒットしそうな場所に埋めてください。

コンクリートで地面を覆っている場所では、『コンクリート用ステーション』を埋めてください。



## 設置場所の選定時に 回避すべき場所

- ディフェンダーは、雨滴線の直下からずらして建物の**基礎**や**犬走り**にできるだけ近い所に設置してください。（穴を開けられる場合は犬走り、その他のコンクリート部分でも良い。）
- **人が頻繁に通る場所、水の溜まりやすい場所**やその恐れのある場所をさけて、設置してください。
- ステーションを設置する穴をあける際には、**地中の配管**に十分注意してください。



## ステーション設置場所の取扱について —お客様へのお願い事—

地中設置型ステーションを設置後、お客様に以下のステーションの取扱についてお願いしてください。

- ステーションを開けたり・刺激を与えたりしないこと
- ステーションの設置場所に過度の散水をしないこと。
- ステーション内および設置場所周辺に殺虫剤を散布しないこと。